

## 日本で技術革新と創造性を教えること：

### 「ハウレンソウ」は問題でしょうか？



ペグ・タイラー

寄稿者

私は、教育、社会、政治問題について記事を書いています。

「ハウレンソウ」は、日本の学校の子ども達に技術革新を奨励する上で、妨げとなるでしょうか？

日本と韓国の政府は、生徒たちが、グローバルな経済に加わるように、より革新的で創造的な教育をしたいと言っています。政府は、英語教育(話す力を重視した)、自己表現、クリティカルシンキング(複眼的思考)、問題解決力を奨励しています。私は、それを研究調査するためにやってきました。

自身の投稿に、私は助言を求め、その方法を手にしました。私は、どれだけの教師、政策立案者、研究者、学生、そして、学校管理者が、日本、韓国における変化に対し、何が変化しており、課題は何か、どんな可能性あるかという彼らの考えを共有するため、彼らが私に連絡を取ってくれたことに驚き、(そして喜び)ました。ありがとうございます。

数日前、私は、日本における学校から職場までの経路に関して、ユニークな視点をもった教育者の Joe Hug 氏にインタビューを行いました。彼は、教師や大学の講師として働いた後、中学・高等学校・大学で、丸暗記の勉強にできるだけ頼らず、よりアクティブな授業を行わなければならない状況下にある、英語を教える日本人の教師の手助け等を行う [コンサルティング会社を起しました](#)。さらに彼は、大学生が、欧米の一流のビジネススクールや認証プログラムに入学し、目標を達成できるよう、もっと積極的な学生になるための準備も行っています。例として、彼は、2つの、有名な日本の企業(三菱のある部署も含めた)の若手社員に対して、「グローバルな能力」について教える仕事も行っています。

Hug 氏の妻で広島出身の Reiko 氏は、「技術革新の文化を作り出すための政府の努力に対する最大の壁は、「ハウレンソウ」かもしれない。」と述べています。

それはどのような意味でしょうか？

それは「報・連・相」という短い語句の訳で、「ホウレンソウ」という野菜の名前と同じです。そして、「ホウレンソウ」が示す価値は、どのような教育やビジネスが行われるかということの根幹です。それは何でしょうか？「報告」－自分の上司に、起きた物事すべてを報告するという意味。「連絡」－自分の上司に、関連するあらゆる出来事を（自身の意見や推測がなく）説明するという意味。そして「相談」－自分の上司やチームのメンバーと仕事に関して相談したり、話し合うという意味。「報・連・相」は、日本の企業の会長であり、執筆者でもあった山崎 富治氏によって1980年代に提唱されました。彼は、リスクを負い、かつ創造的な問題解決を超えた協力、注意、安定性を重んじるこの確固とした一連の相互に連動し合う文化の価値に関して、その興味を引く名称を「報・連・相」と付けました。それは「ミスを犯す」ことに大変強い嫌悪感を示す訓練です。欧米の視点で見ると、職場において「報・連・相」が、チーム内で繰り返し行われている、または、マイクロマネジメント(管理者が細かいところまで規定して部下に裁量権を与えない管理手法)をしているように見えます。

これは学校教育とどう関係があるのでしょうか？

「報・連・相」は、ほぼすべての日本の学校の初期の学年で強化されている一連の規範を示しています。彼らは協力し合い、正確に指示に従うよう求められます。そして、先生が正しい答えだと判断したことに對して答えます。そして、それは実際、アメリカの学校で評価されている「自立心を育てる」とことと反対です。(アメリカでは、学校の通知表の中で自立心が評価されますよね。)そして、それは、シリコンバレーの億万長者たちのマントラ(呪文・真言)とそれほど変わりません。それは、ものごとを壊し、期待される答えを出すことではありません。

Hug 氏のコメントはこうです。

日本の学校制度は素晴らしいと思います。でありながら、子ども達に正しい答えを出させることに集中している気がします。それは時代に即していません。

いまや世界は、生徒たち自身に、「どのような可能性があるか。」という答えを導き出すよう求めています。生徒たち自身が間違っただけを出したくないという現状において、それは大変難しいことです。最近、生徒たちが「間違ってもよい」、そこから柔軟に、十分に復活できるという教室文化を作り、協力できるよう、教師たちは挑戦しています。間違っただけを出す過程の中で、正しい答えにたどり着くと僕は思うのですが、いまだに教師たちは苦勞をしています。Hug 氏は続けます。日本人の多くは、間違っただけを出してはいけないという勉強をしてきました。日本における「ホウレンソウ」

文化は、間違った答えから正解を出す方法ではありません。教師たちはその方法を模索中です。

### あなたの考えは？

日本の学校や企業で「ホウレンソウ」の根底にある価値観に出会ったことがありますか？アメリカには「ホウレンソウ」文化のようなものがあるのでしょうか？そして、ここで大きな疑問です。失敗への恐怖と技術革新は共存できるのでしょうか？私の調査はこれからも、、、この過渡期を果たして教師たちはどう制するのでしょうか？

<https://www.forbes.com/sites/pegtyre/2019/05/19/teaching-innovation-and-creativity-in-japan-is-spinach-the-problem/#20c7435d1728>